

瀋陽駐在員事務所

「壮大なる瀋陽都市計画」

「瀋陽市都市計画展示館」には、2030年の瀋陽の姿がテニスコート3面ほどある室内にモデルとして飾られている。都市計画の概要は、一覧表のとおり。このような都市計画に、北海道企業のビジネスチャンスが隠されているにちがいない・・・要チェック！である。詳しくは調査ニュース12月「海外の窓」をご覧ください。

【主要都市計画一覧表】（一部抜粋）	
地下鉄網整備	地下鉄11路線建設（総距離400km）
政府機構の移転	市政府中枢機構を南の新渾南新区に移転
鉄道駅の新設	瀋陽南駅（中国版新幹線発着）、新瀋陽北駅を新設
都市排水処理	汚水・雨水を分流、地下鉄排水を再利用
暖房設備	太陽エネルギー・地中熱源ポンプ・天然ガス・汚水余熱など再生可能エネルギーの活用
駐車場	46ヶ所の駐車場を増設
地下空間の開発利用	18ヶ所の地下街を開発（総面積約1850万㎡）



瀋陽市都市計画展示館内

正司 毅

ユジノサハリンスク駐在員事務所

「缶コーヒーはお好き？」

紅茶を愛するロシア人ですが、最近は日本食の普及とともに「緑茶」を飲む人たちも増え、スーパーの日本食コーナーでの定番メニューであり、また日本からの土産として「緑茶」は非常に喜ばれています。

一方「コーヒー」ですが、5~6年前まではレストランでもコーヒーといえば、インスタントコーヒーが主流でした。ましてやコーヒーメーカーやフィルター等もなく、日本から持参しなければならないという時期がありました。ところがここ2~3年、石油ガスプロジェクトの関係で多くの欧米人が居住するユジノサハリンスク市にはコーヒーショップが出来、またレストランでも本格的なコーヒーが楽しめるようになりました。当事務所が入居しているビルも含め、欧米系事務所が入居するオフィスビルの多くには必ずと入っているほどコーヒーショップがあり、エスプレッソやアメリカン等を欧米人ばかりでなくロシア人も楽しんでいます。

コーヒーといえば日本では自販機で定番の缶コーヒーですが、サハリンには防犯上から自販機はなく、外国人が多く住む州都ユジノサハリンスク市でも限られたスーパーでしか売られていませんでした。ましてやユジノ市以外の地区で缶コーヒーを見ることはないと思っていましたが、先日州内の某港町にある「キオスク」(売店)で缶コーヒーを見つけました。ロシアを非常によく知る知人と一緒だったのですが、知人は「こんな田舎町に、それもこのような場末のキオスクに日本人しか飲まない缶コーヒーなどある訳がない」といつていたのですが・・・あったのです。それも「カプチーノ」が。知人曰く「嗜好の速さは、思考を上回っている」いずれにしろ、おいしいものは誰でも飲みたいということです。



對馬 雅弘

(財)日中経済協会北京事務所

中国不動産バブル~香港編~

札幌商工会議所、札幌市役所、JETRO等の共催で、現在香港・深センにて現地バイヤーとの食品商談会が行われており、そのお手伝いで香港に滞在中です。そこでしばらく間があいてしまいましたが、久しぶりに不動産バブル~香港編~について書きたいと思います。

「投資移民」という言葉を聞いた事があるでしょうか？簡単に言うと海外に投資をしてそこにそのまま移り住む人の事を言います。中国の富裕層では投資移民ブームで不動産の展示会に行くと、必ずアメリカやオーストラリア等国がブースを設けて、中国人の投資移民を獲得しようと躍起になっています。投資移民の移民先で最も身近なのはここ香港です。香港では650万香港ドル



(7,000万円強)を投資すると永住権を得られるメリットがあります(一般的には7年間の居住が条件)。香港はイギリスが1997年に中国に返還、その後2047年までの50年間、一国二制度となっています。ビザや永住権については中国も制度が違います。リーマンショック後の中国景気刺激策により投入された4兆元のうち、かなりの金額がここ香港の投資にまわったと言われています。日本でも中国人による不動産取得が少なからずありますが、長くても2週間の滞在しか認められない為、日本においては投資移民という言葉は無い様に思います。日本政府は今後外国人の不動産取得に規制をかけると聞いています。それが日本の国際競争力を更に減少させる事に繋がらないか心配しています。

中島 康成